

4-3 伊豆半島付近の地震活動（1998 年 11 月～1999 年 1 月）

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (Nov., 1998-Jan., 1999)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1998 年 11 月より 1999 年 1 月は目立った地震もなく、この地域は静かであった。第 1 図に伊豆半島とその周辺の震源分布図を、第 2 図に 1998 年 1 年間の震源分布図を示す。

1. 伊豆半島東方沖の地震活動（第 1 図）

網代沖で 11 月 6 日に M4.3（深さ 8km）の地震が発生した。初動からのメカニズム解は北西—南東圧縮軸の逆断層である。伊東港沖の微小な地震活動は継続しているが、それ以外は静かな状態である。

2. 伊豆大島東沖の地震（第 1 図）

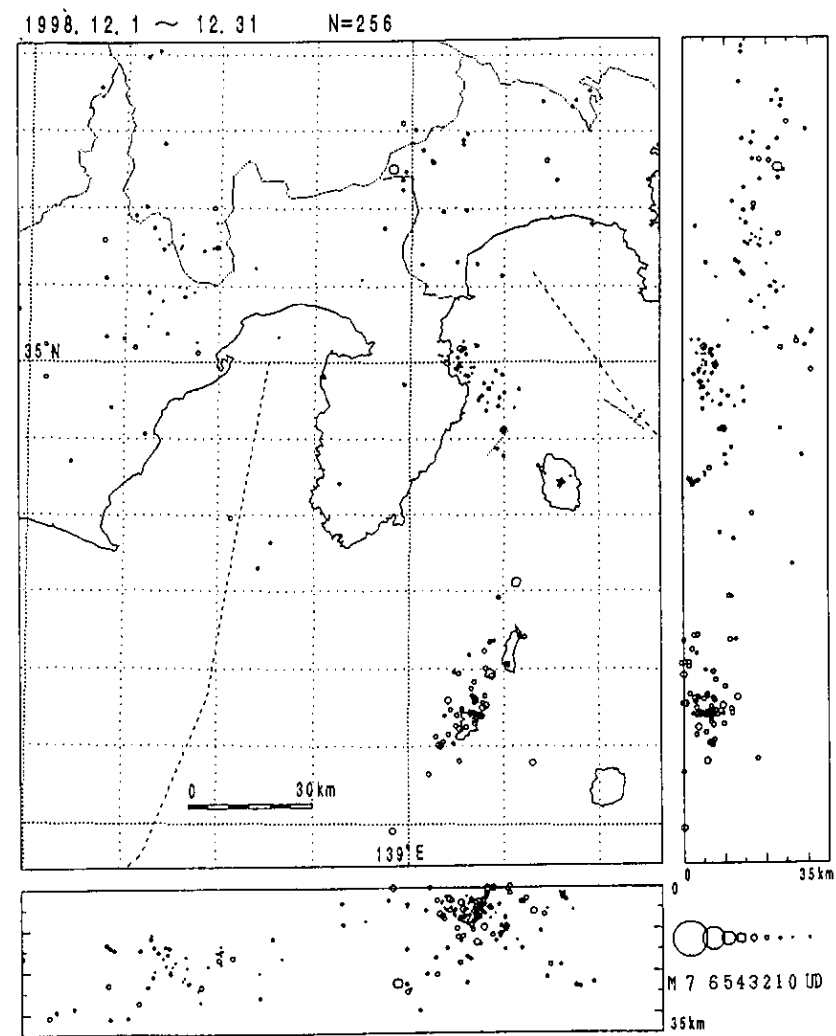
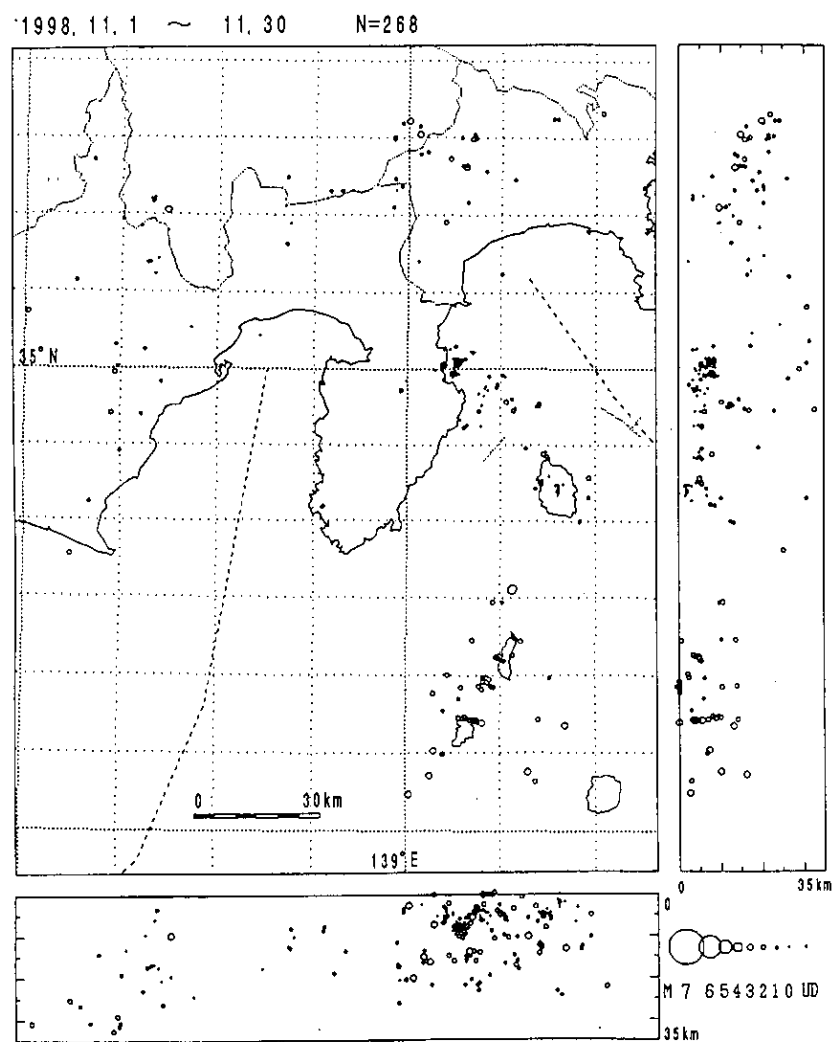
1 月 27 日 10 時 27 分に伊豆大島の東沖で、M4.0 で深さ 19.0km の地震が発生した。P 波初動より求めたメカニズム解は北西—南東圧縮軸の逆断層である。

3. 1998 年の地震活動（第 2 図）

4 月 20 日より始まった川奈崎沖の群発地震は、5 月中旬頃まで活発で、5 月 1 日 1 時 9 分 の M5.2 で深さ 3.8km の地震が最大の地震が発生した。

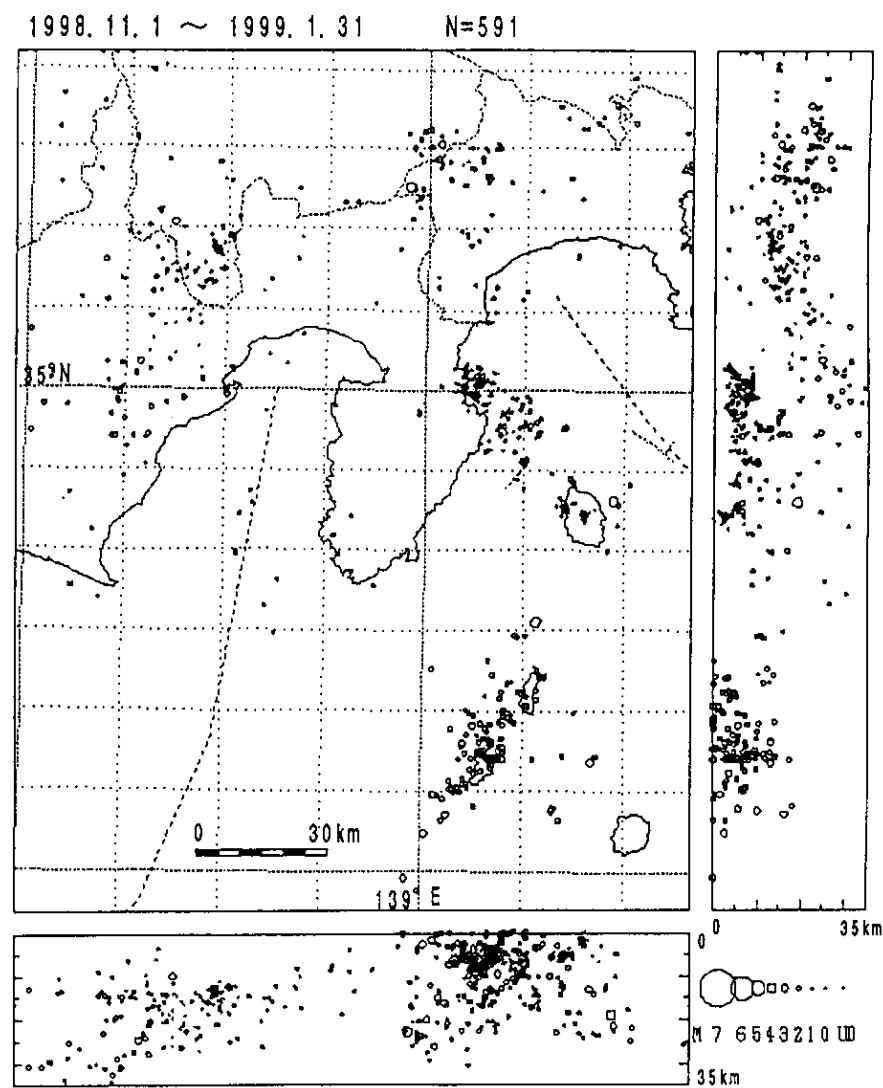
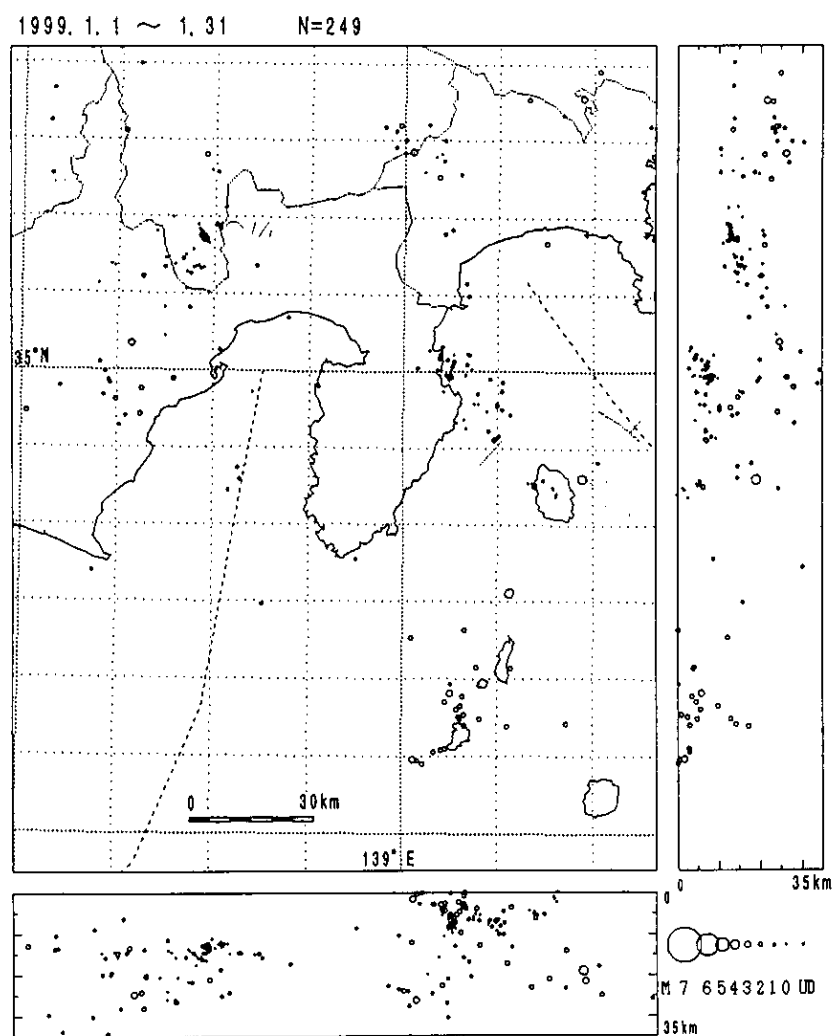
一方、伊東港沖の地震は 1997 年 6 月より続いており、4～5 月の群発活動後も、継続している。新島・神津島周辺、銭州海嶺でも、川奈崎沖の群発地震後活発になり、5 月～8 月に数回の群発地震があった。

（荻野 泉, 萩原弘子）

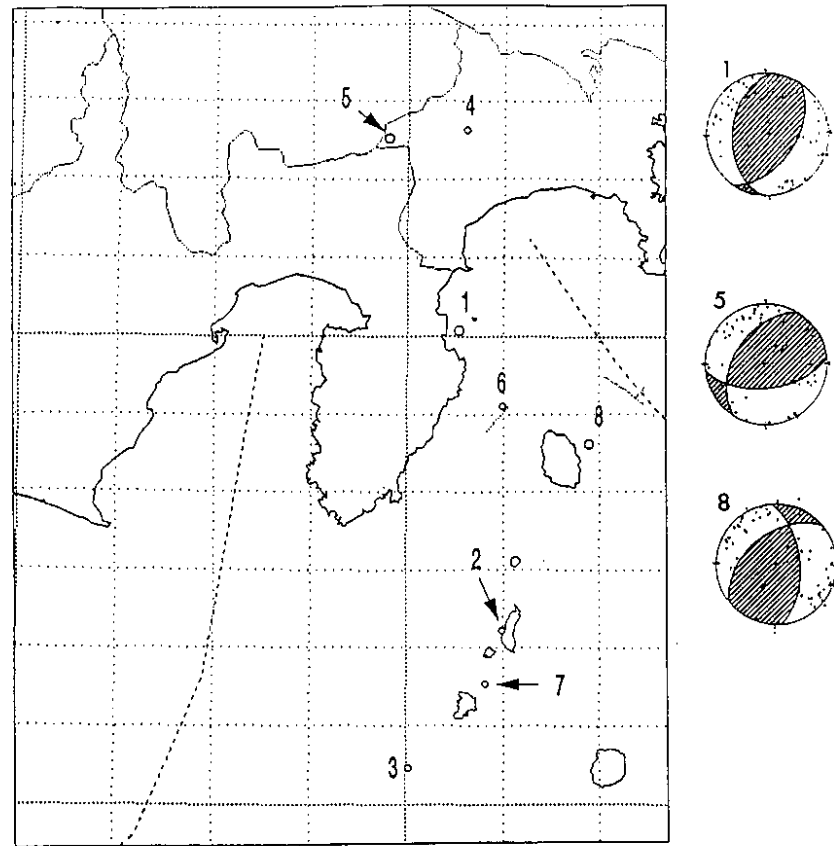


第1図 伊豆半島とその周辺の地震活動 (1998/11~1999/1)

Fig.1 Seismicity in and around the Izu Peninsula (1998/11 - 1999/1)

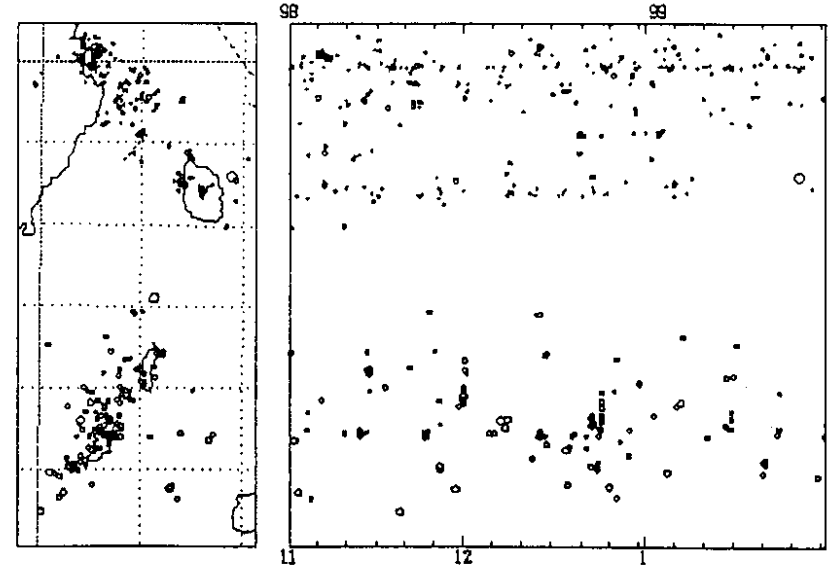


第1図 つづき
Fig.1 (Continued)



a

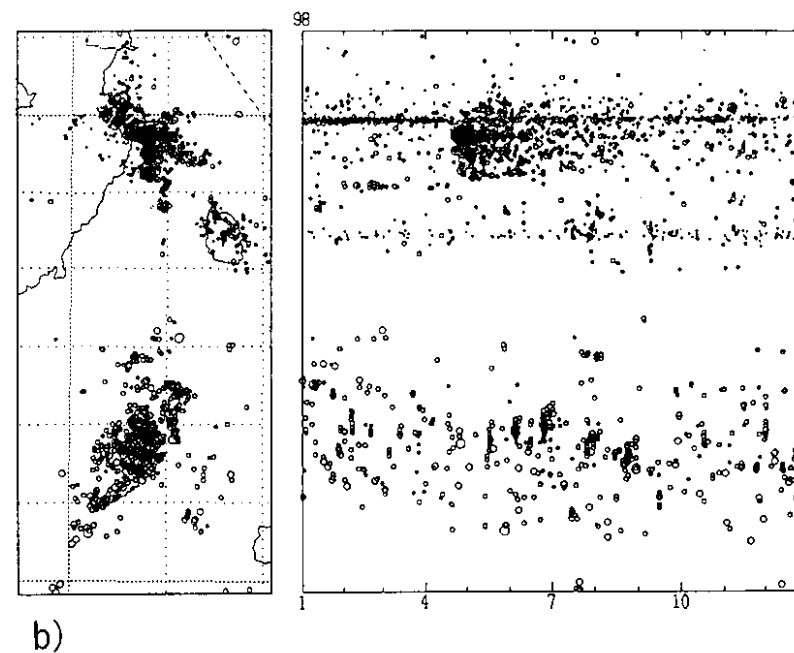
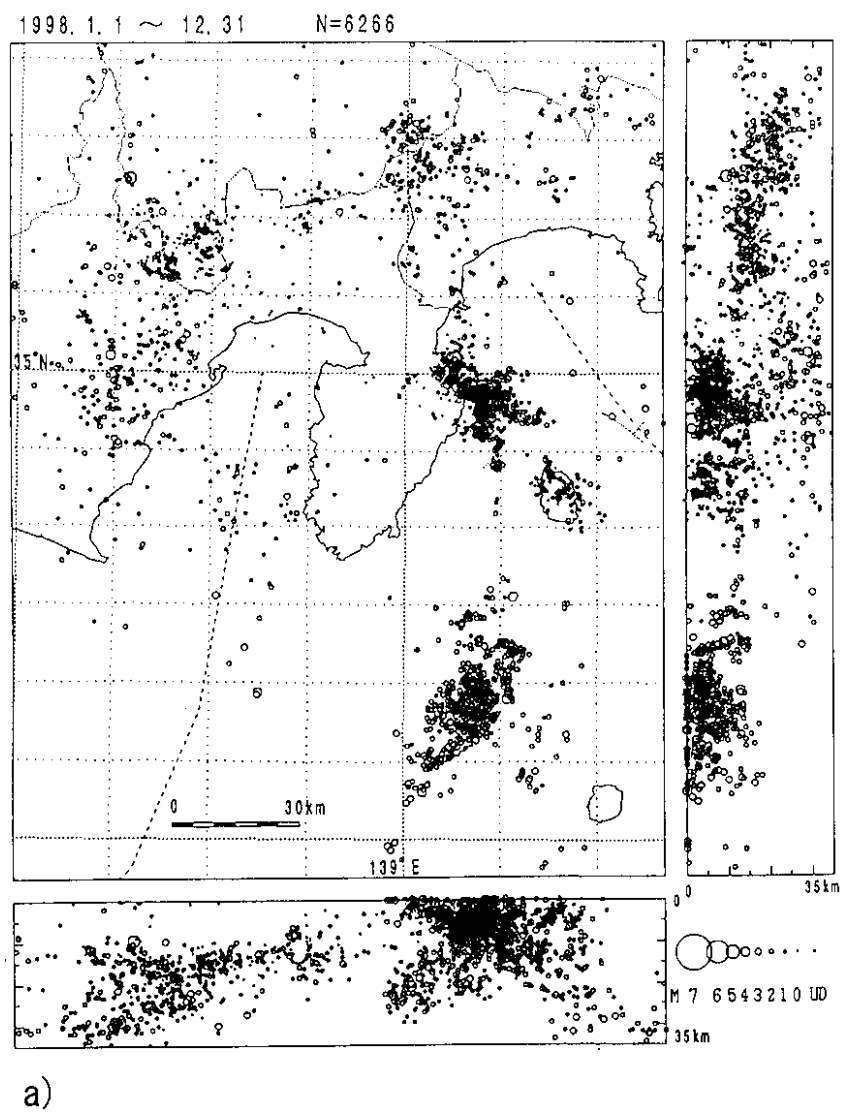
1. 98/11/08 07:26 M=4.3 D= 8.0km
2. 98/11/14 22:18 M=3.6 D= 4.6km
3. 98/11/20 03:18 M=3.9 D= 2.6km
4. 98/11/24 15:48 M=3.7 D=13.5km
5. 98/12/19 11:08 M=4.0 D=22.7km
6. 98/12/20 20:29 M=3.7 D= 9.7km
7. 98/12/22 23:47 M=3.7
8. 99/01/27 10:27 M=4.0 D=19.0km



b

第1図 つづき a) 主な地震とメカニズム解 (1998/11~1999/1) b) 時空間分布図 (1998/11~1999/1)

Fig.1 (Continued) a) Focal mechanism of major events (1998/11 - 1999/1) b) Time-Space distribution (1998/11 - 1999/1)



第2図 伊豆半島とその周辺の地震活動 (1998/1/1~1998/12/31) a) 震源分布図 b) 時空間分布図

Fig.2 Seismicity in and around the Izu Peninsula (1998/1/1 - 1998/12/31) a) Hypocenter distribution b) Time-Space distribution